

国際研究集会のご案内

東京大学史料編纂所では、中国国家博物館の協力を得て、「倭寇図巻」（史料編纂所所蔵）と「抗倭図巻」（国家博物館所蔵）の比較研究を行い、さらにさまざまな倭寇図像の共同研究を行ってきました。その成果の一端は、『描かれた倭寇—「倭寇図巻」と「抗倭図巻」—』（吉川弘文館、2014 年）の図録刊行につながりました。プロジェクトでは引き続き、これまでの研究成果を取りまとめ、新たな展開を目指しています。今回は中国国家博物館との共同研究の一環として、下記のような国際研究集会を企画しました。是非ご参加ください。

倭寇と倭寇図像をめぐる国際研究集会

日時: 4 月 20 日(月)、14:00～17:00

会場: 史料編纂所・大会議室(福武地下 1 階)

〈報告1〉遊佐 徹教授（岡山大学）

「小説に“描かれた”倭寇 —明清倭寇小説概論」

〈報告2〉陳 履生副館長（中国国家博物館）※

「版刻の使い道—明代典籍のさし絵にある
倭寇図の研究」

※お知らせ：陳履生副館長の来日が急遽取りやめとなったため、当日の報告は代読（パワポ使用）で行います。報告順変更の可能性もありますので、ご注意ください。

主催: 東京大学史料編纂所

・ 画像史料解析センター「倭寇画像」プロジェクト

本研究集会は、画像史料解析センター「倭寇画像」PJ(研究代表者: 須田牧子)、科研費基盤研究S「マルチアーカイヴァル的手法による在外日本関係史料の調査と研究資源化の研究」(研究代表者: 保谷 徹)の一環として行います。